



2025年

3

月号

発行日：2025年3月2日
 発行者：カトリック横須賀三笠教会
 T E L : 046-823-0042
 F A X : 046-823-1031
 e-mail:mikasa-church@aqua.ocn.ne.jp

とっけん てばな けんり しゅちょう い かた ぼじしょなりてい じかく
特権を手放し権利を主張する生き方～ポジショナリティの自覚～(1)

みかさきょうかいしゅにんさい はまさきまさみ
三笠教会主任司祭 浜崎眞実

しゃかい ひたいしようとき
 この社会は非対称的で、あらゆるところに
 けんりょくこうばい ふびょうどう なか
権力勾配があり、さまざまな不平等の中で
 い とっけん ひと どりょく
 生きています。そこで特権のない人が努力に
 ある けんりょくしゃ こうい え
 よって、或いは権力者からの好意を得ること
 とっけん て い きょうそう
 で特権を手に入れようと競争するのではなく、
 とっけん み とっけん
 特権を身につけている人がその特権を

てばな びょうどうしゃかい みち あゆ
手放すことで、平等社会への道を歩んでい
 おも
 けたらいいのだと思います。
 ぼじしょなりてい せいじてきけんりょくてきたちばせい
「ポジショナリティ(政治的権力的立場性)」に
 いしき なか せいしょ よ なお こころ
 ついて意識する中で聖書の読み直しを試みました。

あ の ゆうわく
<荒れ野での誘惑>
 いえす かつどう はじ まえ あ の あくま
 イエスが活動を始める前に荒れ野で悪魔
 ゆうわく う ものがたり ふくいんしょ しる
 から誘惑を受ける物語を福音書は記しています(マタイ4章1-11節//ルカ4章1-13
 せつ ゆうわく しりぞ
 節)。そこでは3つの誘惑を退けます。それは政治的権力的立場性を利用せず、そこから離れたことを象徴的に物語っていると
 はいじてきけんりょくてきたちばせい りよう
 はな しょうちょうてき ものがた
 ら離れたことを象徴的に物語っていると
 よ
 読むことができます。
 いちばんめ いし ぱん か しりぞ
 一番目に、石をパンに変えることを退けま

も ひと
 した。それは、たくさん持っている人がもた
 ひと あた きよひ だいあん
 ない人に与えることの拒否です。その代案
 ひと しょゆう てばな
 は、人がそれぞれ所有しているものを手放す
 ゆた たいけん
 ことで、いのちの豊かさを体験できるということです。それを福音書は五つのパンと二匹
 ふくいんしょ いつ ぱん にひき
 の魚で五千人の人が満たされたこと=人々
 さかな ごせんにん ひと み ひとびと
 がいのち(生活)を分かち合うこととして
 えが いえす ぱん ふ
 描いています。イエスがパンを増やした

はなし ま た い し ょう
お 話 で は あ り ま せ ん (マタイ14章13-21
せつ る か し ょう せつ ま る こ し ょう
節//ルカ9章10-17節//マルコ6章
せつ よ は ね し ょう せつ
30-44節//ヨハネ6章1-14節)。

つぎ し りぞ かみ ため たか
次に退けたのは神を試すことです。高い
と お てんし ま も
ところから飛び降りても天使たちが守ってくれるはずだとの誘惑です。それは、周囲から
ひょうばん え きよひ ひとびと ちゅうもく
の評判を得ることの拒否です。人々の注目
あ おお しょさん か と こうどう
を浴び、大きな賞賛を勝ち取るための行動
し りぞ かみ な つか
を退けたのです。それは神の名を使って
みずか せいとうか きよひ
自らを正当化することの拒否でもあります。
たい ふくいんしょ なか だいあん
そのことに対して福音書の中で代案として
えが わたし い
描かれているのは、「しかし私は言う…」
またい し ょう せつ せつ ひょうげん
(マタイ5章32節、39節、44節)との表現
かみ けんい も だ
です。そこでは、神の権威を持ち出したり
じぶん しゅちょう ただ しょうめい かみ とうじょう
自分の主張の正しさの証明に神を登場させたりすることなく、自らの考えを一人称
すとれーと の いや ものがたり
でストレートに述べます。また、癒しの物語
なか いえす わたし やまい
の中で、イエスは「私があなたの病を
いや すぐ い
癒し救ってあげた」とは言わないで、「あなたの信仰があなたを救った」(マタイ9章22
しんこう すく またい し ょう
節)と語ります。自らの評判を気にするの
やまい しゃかい そがい
ではなく、病のゆえに社会から疎外されて
ひと いばしょ かいふく かんしん
いた人が居場所を回復することに関心があるのです。
さいご み つ つ め けんりょく ざ のぼ
最後の三つ目は、権力の座に昇りつめる
し りぞ へんり な ー う えん
ことを退けました。ヘンリ・ナーウェンは
けんりょく ふくいんせんきょう ゆうこう しゅだん かんが
「権力を福音宣教の有効な手段と考える
ゆうわく ゆうわく なか さいきょう
誘惑は、あらゆる誘惑の中で最強のもの」と
してき きりす ときよう れきし
指摘します。そしてキリスト教の歴史を

ふ かえ かみ りんじん ほ う し
振り返り、「神と隣人への奉仕のためなら、
けんりょく て みみ
権力を手にすることはいいことだ、と耳に
じぶん い き
し、自分にもそう言い聞かせてきた」とも
の ぐたいてき ごうりか
述べます。具体的には、このような合理化に
じゅうじ ぐん けっせい しゅうきょうさいばん
よって、十字軍が結成され、宗教裁判が
おこな しょくみんちゅぎ れんどう せんきょうかつどう
行われ、植民地主義と連動した宣教活動の
そうれい せいどう た
もとで壮麗な聖堂が建てられました。しかし、
ひとびと は りょうしん
そこで人々は、果てしない良心のごまかしに
しゅうし い まず むりょく
終始したと言います。貧しく無力になられた
いえす もの しゅちょう ひとびと
イエスにならう者だと主張する人々によつ
けんりょくこ うし てんかい
て、権力行使が展開されているからです。
けんりょく ざ のぼ ゆうわく
権力の座に昇りつめようとする誘惑は
ふくいんしょ いく えが じぶん むすこ
福音書に幾つも描かれています。自分の息子
けんりょく ち い つ ねが
たちを権力ある地位に就かせようと願う
ははおや またい し ょう せつ
母親(マタイ20章20-28節)。あるいは
でし なか いちばんえら もの だれ
弟子たちの中で一番偉い者は誰かという
ぎろん ばめん る か しょ せつ
議論をしている場面(ルカ22章24-30節)
たい だいあん
などがあります。それに対して代案になる
かしょ る か ふくいんしょ まりあ さんか えが
箇所は、ルカ福音書の「マリアの讃歌」が描く
しゃかい おも あ もの う ち
社会です。そこでは「思い上がる者を打ち散
けんりょく もの ざ ひ お
らし、権力ある者をその座から引き降ろし、
みぶん ひく もの たか あ う た
身分の低い者を高く擧げる」と歌われます
る か しょ せつ けんりょく もの ざ
(ルカ1章51-52節)。権力ある者はその座
ひ お すわ ざ
から引き降ろされて、座っていた「座」は
から ぼ い ん と
空っぽのままというのがポイントです。その
けんりょくしや く び か
ことによって権力者の首のすぐ替えではな
けんりょく ざ だれ すわ く う い
く、権力の座に誰も座ることなく空位にする
び ら み つ ど がた し ゃ か い く づ び ょう ど う
ことで、ピラミッド型の社会が崩れて平等な

関係に向かって歩めるとの主張です。もう一つは、復活のイエスがペトロに三度「私を愛しているか」と質問し、「私の羊の世話をしない」と命じる箇所です(ヨハネ21章15-19節)。ここでは「年をとると、…行きたくないところへ連れて行かれる」(18節)と言われ、最後に「私に従いなさい」と命じられます。リーダーとしてのペトロは、自ら人を導くのではなく導かれる者になるということです。イエスに従う者は権力を使って、他者を支配し従わせるのではなく、「時のしるし」を読み取りどこに導かれているのかを識別しそれに基づいて歩むことが求められます。

三つの誘惑を退けたことを一言で表すと、それは「特権を手放す生き方」です。それは謙遜だとかへり下るとかではなく、特権的

な立場にいるならその立場から降りることです。カナンの女性との出会い(マタイ15章21-28節)では、外国人で女性でもあるといふことで二重に疎外された人にとって、ユダヤ人男性であるイエスは特権的な立場にいます。最初は上から目線の対応ですが、この女性を通して特権行使するのではなく、相手を対等にみなし尊重することを学んだのです。ここではイエスの方がこの外国人の女性との出会いによって考え方や態度が変えられたことを伝えているのでしょうか。自民族の外に赴いて、ティルスとシドン地方に行つたと記されているのは意味深長です。福音書が描くイエスは特権行使することによって評判を得ることをせず、立場を利用して人の心の中に介入することもしませんでした。(4月号に続く)

2月教会委員会報告

I 典礼暦と行事・活動

3月 1日(土)福音宣教部会定例会
2日(日)年間第8主日
教会委員会、典礼部会
5日(水)灰の水曜日(四旬節)10:00
9日(日)四旬節第1主日
黙想会

し じゅんせつだい しゅじつ
16日(日)四旬節第2主日
ぐれ ごり おせいか いつしょ
グレゴリオ聖歌をご一緒に
きょうかいがっこう
教会学校

し じゅんせつだい しゅじつ
23日(日)四旬節第3主日
せいしょこうざ はまさきし
11:00～ 聖書講座 浜崎師
えいごみさ
15:00英語ミサ
し じゅんせつだい しゅじつ
30日(日)四旬節第4主日

がつ にち じゅうじか みち
4月 5日(土)十字架の道ゆき 10:00～
し じゅんせつだい しゅじつ
6日(日)四旬節第5主日
じゅなん しゅじつ えだ しゅじつ
13日(日)受難の主日(枝の主日)
せいもくようび しゅ ばんさん
17日(木)聖木曜日(主の晚餐)
ひじりきんようび しゅ じゅなん
18日(金)聖金曜日(主の受難)
ふっかつてつやさい
19日(土)復活徹夜祭
ふっかつ しゅじつ
20日(日)復活の主日
ぱーてい
ふっかつせつだい しゅじつ
27日(日)復活節第2主日
ちゅう せい にちかん みさ かいしじかん き しだい し
(注)聖なる3日間のミサ開始時間は決まり次第お知らせします

II 報告

がつ きょうかいいいんかい
4月の教委について
がつ かいさいいた がつ さいすたーと
4月には開催致しません。5月より再スタートいたします。

1. アンケート「横須賀はあなたにとってどんな街ですか？」

み さ しゅっせきしゃ たい あん けーと よこ すか まち がつ にち
ミサ出席者に対するアンケート「横須賀はあなたにとってどんな街ですか？」を1月19日
にち にち にち がつ にち にち かい じっし やく めい かた かいとう
(日)、26日(日)、2月2日(日)の3回にわたって実施し、約90名の方から回答をいただきま
あん けーと きょうりょく かんしゅ
した。アンケートにご協力いただいたみなさんに感謝いたします。
あん けーと けっかぶんせき こんご あん けーと じっしち む ぶんせきさざよう ま
アンケートの結果分析については、今後「アンケート実施チーム」の分析作業を待って、

し けっか はつよう ま
お知らせいたします。結果の発表はいましばらくお待ちください。
し じゅんせつもくそうかい

2. 四旬節默想会

こう し どみにこかい わたなべひろしげしんぶ
講師:ドミニコ会 渡邊裕成神父さん

て 一ま いえす ふくいん い

テーマ:イエスの福音を生きる

おしだしげとし であ たかもりそうあん せいかつ
…… 押田成人師との出会い、高森草庵での生活

たかもりそうあん おし

高森草庵が教えてくれたもの ……

にち じ がつ にち にち

日 時 3月9日(日)11:00~14:00

もくそうかい

黙想会 11:00~12:30

こうりゅうかい

交流会 12:30~14:00(講師を囲み軽食を摂りながら)

やつがたけ たかもりそうあん ゆぎょう じゅんれいしゃ よ おしだしげとし ねん
八ヶ岳のふもとの「高森草庵」で「遊行の巡礼者」と呼ばれる押田成人師(1922年~
2003年)の精神を受け継いで有機農耕の生活を続けていらっしゃるドミニコ会の渡邊裕成
しんぶ いえす ふくいん い だい もくそうかい しどう きち まち よこすか
神父さんに「イエスの福音を生きる」と題して黙想会ご指導をいただき、基地の街、横須賀で
せいかつ ふえんす まい べいかいぐんよこすか きち せつ きょうかい しょぞく
生活し、フェンス1枚で米海軍横須賀基地に接する教会に所属するわれわれにどう生きたら
あ ど ば い す かんが
よいのかアドバイスをいただきたいと考えます。

3. 4月の外部講師講演会・イベント

(1) 原子力空母がいる横須賀に住むとはどういうことか?

じゅうみん あんけーと ほうごくかい げんしりょくかん ぼうさいもんだいせつめいかい

…… 住民アンケート報告会・原子力艦の防災問題説明会 ……

しのみん かんが
① 市民はどう考えているのか?

げんしりょくうぼ はいび と にんしみん あんけーと ほうごく
原子力空母の配備を問う3,000人市民アンケート報告

げんしりょくうぼ あんぜん
② 原子力空母は安全か?

げんしりょくかん ぼうさいもんだい かんが
原子力艦の防災問題を考える

せつめいしゃ げんしりょくうぼ ぼこうか ぜひ と じゅうみんとうひょう せいこう かい
説明者 原子力空母の母港化の是非を問う住民投票を成功させる会

ひかくしみんせんげんうんどう よこすか よこすか へいわせんだん

非核市民宣言運動・ヨコスカ／ヨコスカ平和船団

ひ とき がつ にち にち

日 時 4月6日(日)11:00~13:00

せつめいかい

説明会 11:00~12:00

こうりゅうかい

交流会 12:00~13:00

さくねん みかさきょうかい げんしりょくくうぼ きやんべん ちいきゅうかい かいさい
昨年、三笠教会では「原子力空母2024キャンペーン地域集会」を開催しましたが、このた
かんれん ほうこくしょ しりょう さくせい しみんだんたい
びこれに関連するふたつの報告書・資料がまとめたので、作成にかかわられた市民団体の
かんけいしゃ ほうこく せつめい げんしりょくくうぼ よこすか す いみ
関係者から報告、説明いただき、原子力空母がいる横須賀に住むとはどういうことを意味する
しみん かんが おも
のか、市民のみなさんとともに考えたいと思います。

(2) わたしたちは横須賀の街でこんなことしています

ねんどねんかんて 一ま よこすか まち さんか かいまくい べんと
……2025年度年間テーマ「横須賀の街に参加しよう！」開幕イベント……

せつめいしゃ げんしりょくくうぼ ぼこうか ぜひ と じゅうみんとうひょう せいこう かい
説明者 原子力空母の母港化の是非を問う住民投票を成功させる会

ひかくしみんせんげんうんどう よこすか よこすか へいわせんだん
非核市民宣言運動・ヨコスカ／ヨコスカ平和船団

えねるぎーもんだい かんが よこすか かい
エネルギー問題を考える横須賀の会

にちじ がつ にち にち
日時 4月13日(日)11:00~13:30

せつめいかい
説明会 11:00~12:00

こうりゅうかい
交流会 12:00~13:00

みかさきょうかい ねんどねんかんて 一ま よこすか ちせいがくてきかだい
三笠教会では2024年度年間テーマ「横須賀の地政学的課題とはなにか？」をうけて、
ねんどねんかんて 一ま よこすか まち さんか きかく かいまく
2025年度年間テーマ「横須賀の街に参加しよう！」を企画しており、開幕にあたって、われわ
よこすか ちせいがくてき かだい とく しみんかつどう さんか けいけんがくしゅう
れが横須賀の地政学的な課題に取り組んでいる市民活動に参加して経験学習できるよう、
かんけい しみんだんたい よこすか まち かつどう しょうかい きかい
関係する市民団体に横須賀の街でどのような活動をされているのか紹介していただく機会を
も かんが
持ちたいと考えます。



ぐれごりおせいか いっしょ
グレゴリオ聖歌をご一緒に

にちじ
日時 : 3月16日(日)11時~11時30分

ばしょ せいどう
場所 : 聖堂にて

けいしき いっしょ とな き よ
形式 : ご一緒に唱えていただくまたはお聞きいただけでも良いです

とうじつてきすと にほんごつ がくふ はいふ
当日テキスト(日本語付きの楽譜)を配布いたします
さんか こころ ま

ご参加を心よりお待ちしております

しゅさい しなびす つぶい
〈主催〉シナピス(からし粒の意) とあさき ふじわら ちかよ
お問い合わせ先: 藤原 千賀代

ふくいんせんきょうぶ かい
福音宣教部会からのお知らせ
よこすか まち さんか
…… 横須賀の街に参加しよう！ ……

め お たか お
名生 尚雄

はじめに

わかつっていたことではあるけれど、チームの後継者をさがそうとすると、ほんとうに人がいなくなってしまったんだなあと思います。でも、おなじメンバーでずっと続けるのは決してよいことではないし、やはり人は代わることと、疲れたときには休めることが

いいと考えます。そんなわけで、福音宣教部会の運動は、教會委員会全体のなかで企画、検討してもらって、引き続き継続する一方、専任チームとしての福音宣教部会はいったん解散することとなりました。ところで今回は、4年間の回顧と展望です。

4年間の回顧と展望

この4年間で「ナザレの人イエスが始めた『神の国運動』をうけつぐ教會」に近づけたのだろうか。「学びなおし」はどうか。「体験的参加」はどうだったのだろうか。大きな枠はもう60年も前の第二バチカン公会議で基本的には変わっているはずだけれども、人の考えはそんなに簡単に変わるものじゃなくて、われわれはやはり、今あるが今まで「まにあっているんだなあ」というのがこの4年間の感想です。

「考えた」からさらに「ライフスタイルの変更」まで踏み込むと、教皇フランシスコの「出かける教會」、シノドスの「ともに歩む」という呼びかけにもかかわらず、「出かける」

「ともに歩む」というライフスタイルにはとてもなれていない。われわれは「出かける」「ともに歩む」ということが具体的になにを意味するのかすら、体験的には了解していないのが現状ではないでしょうか。

じゃあどうしたらいいんだろう？「学びなおし」と「体験的参加」は引き続き続けるとしても、やはり前提となるなかまがないことには始まらない。なかまづくりのためにには「会議」では無理で、どこかに対話し、交流する場を作らないわけにはいけないということが4年間でいちばん感じたことです。
もうひとつ気づいたことは、「出かける」「と

あゆ
もに歩む」ということは、「かかわりあいになる」という「立ち位置」をとれるか、全くかかわらないかが分かれ道じゃないかということです。

ねんかん
4年間で、われわれはフェンス1枚で米海軍基地に接する、おそらく日本で唯一の教会だということはよくわかりました。
きよねん ねんかんてーま
去年の年間テーマのことばとして、
たいがいてき よこすか ちせいがくべきかだい
対外的には「横須賀の地政学的課題とはなんだろう?」という表現にしたけれど、これ

ちせいがくべきじょめい
はわれわれにとっては「地政学的召命」ということばがいちばんぴったりするのではないでしょうか。ここに三笠教会があるってことはだてじゃないんだ。この召命にかかわりあいになれるかどうかが問われていることなのではないでしょうか。

さくねん みかさこうえん
昨年は、三笠公園の
びーすふえすていばるさんか かいめ
「ピースフェスティバル」に参加したり、2回目の「横須賀基地ウォチング」を実施したりで少しだけ「かかわりあいになる」スタートは切れたのかなと感じています。

おわりに

きほんてき とき み ま
基本的には「時が満ちるのを待ちながら」
にほんじたい じん
ということになるのでしょう。日本自体が人口減少社会になっているのだから、教会
こうげんしょうしゃかい きょうかい
もそれぞれの役割を分担できるほど人はいません
やくわり ぶんたん ひと
なくなるわけで、おたがいに複数の役割を
ふくすう やくわり
シェアしあいながら進むほかないのかという
しき
気がしています。
ねんかん ぶかい うんどう つう おお
この4年間、部会の運動を通じて、多くの

ひと であ し こううん
人と出会い、知りあいになったことは幸運で
ひろみ にほんぜんたい
した。やはり広く見れば、日本全体だって、
よこすか まち ひと
横須賀の街にだって「まにあっていない人」
はたくさんいるんだなど気づきました。そんな
ひと ねつとわーく で
人たちとネットワークを組んで、「出かけ」
あゆ おも
「ともに歩め」たらいいなと思っています。これからもよろしくお願ひいたします。

ぐんてんほう よこすかし
「軍転法」と横須賀市という「場所」に寄せて

さいとうさゆり
斎藤小百合

ねん がつ みかさきょうかい まね
2025年8月に三笠教 会にお招きいた
はなし
だき、お 話 をさせていただきましたことに
つづ
続いて、2月9日には、「軍転法(旧軍港
と してんかんほう はなし
都市転換法)」をめぐってお 話 をさせてい
きかい ちょうどい ちょうどさ
ただく機会を頂 戴しました。まだまだ調査・
けんきゅう た き
研究が足らなくて、むしろ、聞いてくださっ
かたがた かつどう おし
た方々にこれまでの活動を教えていただく
おお こんかい
べきことのほうが多いのです。今回も、その
つうかん
ことを痛感しました。

こんかい はな なか とく
今回、お話しさせていただいた中で、特に
きょうちよう
強調したかったのは、こんなことです。
げんざい にほん にほん しゃかい
現在、日本で、そして、日本(のとりわけ社会
しはいそう つよ えいきょう う べいこく
支配層)が強く影響を受けている米国で、
じゅうらい ほう ほう おも せいじ
「(従来の)法を法とも思わない」政治、あ
じぶん ほう せいいじ
たかも「自分が法だ」といわんばかりの政治
とお
というのがまかり通ってしまっているように
おも ほんらい ほう
思われるけれど、「本来は」法は、わたしたち
つく ほんらい
が作っていくはずのもので、この「本来は」と
と もど
いうことを取り戻したい、といったことでした。

ほんらい ほう
「本来は」法って、どんなもので、どんなふ
つく てん
うに作られるべきものでしょうか。その点で
こえ き
まず、「わたしたちの声を聽かずに、わたした
き
ちのことを決めないで! (Nothing about
あ
us, without us.)」ということを挙げたい
おも じゅう みんしゅてき しゃかい
と思います。自由で民主的な社会における

ほう しゃかい い
法は、この社会でともに生きるひとたちすべ
およ ほう
てに及びますから、「法」はわたしたちの
せいかつ
生活にかかわる、「わたしたちのこと」です。
き
その「わたしたちのこと」を決めるには、わた
こえ き
したちの声が聴かれなければならないです。
ぐんてんほう ぐんてんほう せいてい
「軍転法」についていえば、「軍転法」を制定
ほう よこすかし
するには、この法は横須賀市をはじめとした
きゅううぐんこう と し てきよう
4つの「旧軍港都市」に適用されるのだから
しみん こえ じゅうみんとうひょう
ら、その市民たちの「声」を住 民 投 票とい
かたち き
う 形 で「聴く」ということをしなければなら
にほんこくげんほう じょうう
ない、ということが日本国憲法95条に
きてい
規定されているというわけです。
きよねん はまさきしんぶ
去年8月には浜崎神父とともに、わたしも
よこすかへいわせんだん じょうせん
「横須賀平和船団」に乗 船させていただき
じえいたいき ち べいかいぐん
ました。自衛隊基地や米海軍はもとより、こ
ひ いたりあ ふらんす かんせん ていはく
の日にはイタリアやフランスの艦船も停泊
かんさいき の ぐんかん
し、これみよがしに艦載機を乗せた軍艦も。
ぐんてんほう だい じょう きゅううぐんこう と し
「軍転法」第1条には、「旧軍港都市を
へいわさんぎょう と し てんかん
平和産 業都市に転換することにより、平和
にほんじつけん りそうたっせい き よ もくべき
日本実現の理想達成に寄与することを目的
ほうりつ もくべき かか
とする」と、この法律の目的が掲げられてい
へいわ いみ か
ます。「平和」の意味が変わってしまったかの
げんだい
ような現代。それでも、いや、だからこそ、わ
へいわ いみ
たしたちは平和の意味をわたしたちの手にと
りもどさなければならぬと痛感しました。

さいとう さ ゆり さくねん つづ
齊藤小百合さんには昨年8月に続いて
ぐんてんほう かんが ほう ほう
「軍転法」から 考える、『法が法であるた
ひつよう ほうきはん
めに』必要なこと「…『法規範』というものが
ゆうかい げんだいしゃかい だい
融解していく現代社会で…」と題して

こうえん めっせーじ よ
講演いただき、さらにメッセージを寄せてい
こんご よこすか まち
ただきました。今後とも横須賀の街にかかわ
ほうてき りかい しえん
る法的な理解についてご支援をいただけた
ねが
らと願います。

ふくいんせんきょうぶかい め おたか お
(福音宣教部会 名生尚雄)

しんと きんきょう 信徒の近況

き てん 帰 天

がつ にち まりあ どみにか
2月6日 マリア・ドミニカ
みづの かずこ
水野 和子 さん
がつ にち あんとにお
2月8日 アントニオ
うつみ まさひこ
内海 雅彦 さん